

# 富士通の沿革

## 69年前、自然と共生する庭園様式の工場から、 私たちは歩み始めました。

1935年

- ・川崎工場設立時、初代吉村社長の提言により庭園様式を取り入れる
- ・富士通信機製造株式会社設立

1954年

- ・わが国初のリレー式自動計算機「FACOM100」完成

1961年

- ・トランジスタ式大型汎用電子計算機「FACOM222」完成

1967年

- ・「富士通株式会社」に社名変更

1972年

- ・各工場に環境管理課設置

1980年

- ・日本語ワード・プロセッサ「OASYS100」発表

1981年

- ・パーソナル・コンピュータ「FM-8」発表

1987年

- ・オゾン層保護対策委員会発足
- ・ビジネス・パソコン「FMRシリーズ」発表

1989年

- ・環境対策委員会発足

1990年

- ・環境管理評価システム実施

1991年

- ・環境技術推進センター発足

1992年

- ・富士通環境憲章制定
- ・洗浄用フロン、四塩化炭素全廃
- ・省エネルギー対策委員会発足

1993年

- ・製品再資源化委員会発足
- ・廃棄物対策委員会発足
- ・第1期富士通環境行動計画策定
- ・製品環境アセスメント・ガイドライン実施
- ・関係会社環境問題連絡会議発足
- ・環境情報サービス「FJ-CUG」開設

1994年

- ・環境広報誌エコプラザ創刊
- ・1,1,1-トリクロロエタン全廃
- ・第1回富士通グループ環境技術展開催
- ・環境シンボルマーク制定
- ・海外環境情報ネットワーク運用開始
- ・オールインワンモデル・パソコン「FMV DESKPOWER」新発売

1995年

- ・環境マネジメントシステム委員会発足
- ・リサイクルシステム運用開始
- ・海外グループ環境問題連絡会議発足
- ・世界最高速CMOS汎用プロセッサと並列処理技術を採用したグローバルサーバ「GS8000シリーズ」発表
- ・42型カラー・プラズマ・ディスプレイ・パネル(PDP)を世界で初めて商品化
- ・2GB/4GBの3.5インチ光磁気ディスクを世界で初めて開発

1996年

- ・第2期富士通環境行動計画策定
- ・イントラネット「環境技術推進センターホームページ」開設
- ・化学物質排出削減委員会発足
- ・環境活動報告書初版発行

1997年

- ・ホームページ「環境のコーナー」開設
- ・国内全製造工場にてISO14001認証取得完了

1998年

- ・タイで植林活動
- ・グリーン製品発表
- ・UNIXサーバ「GP7000Fファミリー」を発表

1999年

- ・環境会計制度の導入
- ・ベトナムで植林活動開始
- ・350万会員のインターネット・サービス・プロバイダー「@nifty」が誕生

2000年

- ・国内開発・サービス4事業所にてISO14001認証取得完了
- ・環境本部発足



- ・デスクトップ・パソコンで、初のエコマークを取得

2001年

- ・第3期富士通環境行動計画策定
- ・カレンダーに植林木採用
- ・マレーシアで植林活動

2002年

- ・世界初、「スズ-亜鉛-アルミニウム組成の鉛フリーはんだ材料」を開発
- ・世界初、環境負荷の少ない「生分解性プラスチック」部品をノートパソコンに採用
- ・富士通グループ環境方針制定
- ・世界初、自社再生マグネシウム合金をノートパソコンに適用
- ・お客さまの「ビジネスの成長・拡大」スピードな業務連携「システムの安定運用とトータルコストの削減」を実現するIT基盤「TRIOLE」を確立



2003年

- ・植林ネットワークゲーム「リズムフォレスト」を活用した植林活動支援を開始
- ・国内全13工場で、廃棄物のゼロエミッションを達成



©フォトン

2004年

- ・富士通の全事業所で、国内最大規模のISO14001統合認証を取得
- ・新規開発製品について、グリーン製品化100%を達成
- ・第4期富士通グループ環境行動計画策定

